

第11期千代田区生涯学習推進委員会議がスタートしました。

平成28年5月20日、第11期千代田区生涯学習推進委員13名が区長より委嘱され、第1回の生涯学習推進委員会議が開催されました。

会長には日本大学文理学部教授の佐藤晴雄氏、副会長には早稲田大学大学院教育学研究科教授の前田耕司氏が就任されました。第11期の第1号である今号は、7月5日に募集開始となりました「ちよだ生涯学習カレッジ」の概要等をご案内いたします。

石川区長 挨拶

第11期の生涯学習推進委員会議の発足にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。私が関わってから8年でございますが、生涯学習というものを学校教育というフィールドだけで考えるのではなく、もっと幅広い枠組みのなかで考えるべきだと思います。あるいは社会教育という言葉がありますが、それをより幅広く考えるべきだという思いがありまして、区の教育委員会から区長部局のほうに所管を移してこの生涯学習推進委員会議をスタートして、現在に至っているわけでございます。今期の最大の議論は、第9期、第10期の答申にございました「生涯学習大学の創設」とその内容の肉付けということになるかと思っておりますので、重ねてお願いをしたいと思っております。特に今の時代は、生涯の学びこそ青春であると私は思っており、社会的に見てもそのニーズは非常に多いと思っております。学びというのは主体性が重視されますから、学ぶことによってそれを自分の問題として地域や社会にどういった形で自分を生かしていくかが重要になって参りますので、その中身をお進めいただくことをお願い申し上げます。私からの挨拶といたします。どうぞよろしく願いいたします。

第11期千代田区生涯学習推進委員

任期 28年5月～30年3月 敬称略

会長	※佐藤 晴雄(日本大学文理学部教育学科教授)
副会長	※前田 耕司(早稲田大学大学院教育学研究科教授)
委員	服部 元(御茶の水美術専門学校副校長)
	松井 千恵子(昌平評議会コミュニティカル運営委員会)
	鈴木 やす代(千代田区障害者共助会)
	武藤 祐子(千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター長)
	安田 郁子(千代田区文化芸術協会 副理事長)
	※藤井 敬子(千代田区スポーツ推進委員協議会)
	※木村 由香(千代田区青少年委員会)
	※吉田 和仁(和洋九段女子中学校高等学校教頭)
	※浅川 宏(千代田区立お茶の水小学校校長)
	丸山 輝(公募区民)
杉森 一恵(公募区民)	

※は社会教育委員兼任



会長・副会長就任の挨拶

◆佐藤会長

日本大学の本部は千代田区ですが、世田谷キャンパスで社会教育・生涯学習を担当しています。生涯学習推進委員会議には第8期から委員を務めております。

一般的な生涯学習の事業は、10回程度を一区切りとして終わることが多いのですが、これから開校される「ちよだ生涯学習カレッジ」は、2年間と言う長期にわたる学習の機会を提供してきます。そこでは、今後、「人材養成」ということが課題になろうかと思えます。新たに加わられた委員の方々にも刺激を与えて頂きながら今後の進行を務めたいと思えます。よろしく願いいたします。

◆前田副会長

私はこの会議は初めてでございますが、これからいろいろと学ばせて頂きたいと思えます。

社会教育・生涯学習につきましては、佐藤先生の方が本流で、私の方は少々マニアックな研究をこれまでやってきております。社会教育の国際化の問題について興味を持って、オーストラリアとかイギリスのことについてやっております。

微力ながら、千代田区社会教育・生涯学習の発展に少しでも貢献できたらと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

■第11期生涯学習推進委員会議の主な検討内容

～第10期の報告書を踏まえ、第11期の会議における主な検討事項について確認がなされました～

- 平成28年10月5日に入学式を予定している「ちよだ生涯学習カレッジ」開校に向けた課題整理
- 「ちよだ生涯学習カレッジ」の管理運営に関する点検・評価
- 「ちよだ生涯学習カレッジ」の2コース目の学科について
- 卒業生が「学びと地域のコーディネーター」として地域で活躍できるしくみについて
- 千代田区における生涯学習ネットワークづくり

「ちよだ生涯学習カレッジ」の入学募集(案)について ※事務局より

●募集コース

「学びと地域のコーディネーター養成コース」

●キャンパス

区全体がキャンパスとなり、見学や体験などを行う。

講義の授業は主に「千代田区立九段生涯学習館」

●授業

2年間で36回

講義形式以外に、生涯学習やボランティアの現場見学や体験、ワークショップなどの多様な方法を取り入れる。

●定員

30名

●授業料

年間1万円(2年間で2万円)

●開校・入学式

平成28年10月5日(水)



<質疑応答・意見交換など>

○授業料について

【質問】

区のバウチャー制度は適用されるのか。

【回答】

バウチャー制度の対象に、当カレッジのメニューは入っていないため適用はされない。その旨は「ちよだ生涯学習カレッジ」HP内、「よくあるご質問」に掲載する予定。

○卒業要件について

【意見】

学生のモチベーションを向上させるために、「これ乗り越えればコーディネーターになれるのだ」という動機づけが必要だと思う。

○在勤・在学者への募集案内周知について

【質問】

在住者は自宅に届く「広報ちよだ」により募集の確認ができるが、在勤・在学者への周知はどのようなツールを利用していくのか。



【回答】

区のHPのみならず、ツイッターやフェイスブックをはじめとしたSNS機能等も活用して、情報発信の工夫をしていく。

<調整中の事項について>

前期から引き続き調整中の事項について検討した結果、以下の内容を決定し、入学募集案内に反映しました。

①卒業要件について

- ・各単元の6回授業のうち4回以上、および全36回のうち28回以上の出席
- ・授業における習熟度が一定の水準に達しているとコース長が認めること。

②卒業後について

- ・千代田区より「学びと地域のコーディネーター」として認定。千代田区生涯学習人材バンクや当カレッジサポーターに登録し、学習成果を地域で生かせる制度も用意する。

③選考方法(申込み資格)について

- ・20歳以上(2016年10月1日現在)
- ・千代田区内在住、在勤、在学
- ・2年間継続して学ぶことができ、学習成果を地域活動やボランティア活動等へとつなげる意欲のある方。



♪生涯学習推進委員の役割について♪

○生涯学習推進委員は、生涯学習施策の効果的な推進を図るため、平成8年4月に発足した制度であり、学識経験者・生涯学習関係団体代表者・区内の学校長・公募の区民から構成され、生涯学習推進委員会議で検討した事項について、区に対して意見や提言を行っています。

○第11期の任期は平成30年3月までの2年間で、全10回(年間5回程度)の会議を予定しています。



今期のリレー随筆は、
前田副会長からスタートです！

リレー随筆 ～NO. 1～

「生涯学習カレッジ」への期待

前田耕司



今秋、「ちよだ生涯学習カレッジ」がスタートします。生涯学習を推進するための「地域のコーディネーター」の養成や千代田学など「区民意識」の涵養についての学習を両輪に、学習の成果を地域貢献に活かすことが「カレッジ」の事業効果として期待されます。初年度開講の「学びと地域のコーディネーター養成コース」では、地域づくりの担い手の育成や地域ボランティアとして活動するために必要な基礎知識やスキル、心構えを学んだ後、「習得した知識や学習成果を地域社会や市民生活に還元する」という観点にたって、地域貢献やまちづくりなど学習成果を活かす体験がさらなる学習意欲を育むという、生涯学習の循環の仕組みの構築が目指されているといえます。

コースでは、地域に一歩足を踏み出してもらうきっかけとなるような地域活動の具体的な話を聞き、意見交換やグループワークなど参加者との交流を深めながらボランティアとしての基本的姿勢やコミュニケーションへの心配りなどについて学び、地域デビューにとって必要なモチベーションを仲間と共有することの意義を見いだします。カレッジでの「学び」が人と人をつなげ、やがてこうした人間関係の紐帯は地域コミュニティの再生に向けて千代田の生涯学習の大きな推進力となっていくことでしょう。

【編集後記】

第11期第1回のエポックをお読み頂きありがとうございました。新たな委員の方々8名をお迎えし、今期もいよいよスタートを切ることとなりました。

第1回目の会議は「ちよだ生涯学習カレッジ」の概要確認、そして10期から引き継いだ検討事項についても十分意見を交わすことができ、たいへん有意義な会議となりました。

委員の皆様には、第2回会議でも熱いご意見、感想をご期待申し上げます。また、リレー随筆をお引き受けくださった前田副会長にも心から感謝申し上げます。

～編集・発行～

千代田区地域振興部生涯学習・スポーツ課
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
TEL：03-5211-3632
FAX：03-3264-1466
Email：shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp